

## 【算数科の目標は…】

「算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。」ことです。

## 【4年生では、こんな力を育てます】

<p>★ 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方についての理解を深め、小数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。</p>	<p>★ 面積の単位と測定について理解し、図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの単位と測定について理解できるようにする。</p>
<p>★ 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できるようにする。</p>	<p>★ 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることができるようにする。</p>

## 口田小学校では特に…

- 算数の時間には、子どもたちに考える力を育成する授業づくりを目指し、活動を通して、操作・絵や図・言葉・式という四つの表現方法を取り入れ、表現力を養います。
- 算数科への興味・関心が高まるように、算数的活動やコミュニケーション活動を積極的に取り入れて学習活動を多様化し、学習の楽しさや充実感が味わえるようにします。

### 【評価について】

- ★ 次のような方法を総合的に組み合わせて評価していきます。
- ・ 学習への意欲や関心
  - ・ 授業中の態度や発言
  - ・ ノートの整理の仕方
  - ・ 学習プリントやノートへの自力解決時・集団解決時の思考の表現
  - ・ 授業に関する感想
  - ・ テスト、プリントの結果

### 【おうちの方へのお願い】

- ★ 学習内容の定着を図るために、家庭学習として子どもたちに「問題集アイテム」やプリントを中心に課題を出します。おうちの方でも時々様子を見て励ましていただければと思います。
- ★ 算数の学習では次のものを使います。
- ・ 分度器            ・ コンパス            ・ 三角定規
  - ・ ミニ定規        ・ 赤鉛筆
- いつでも使えるように用意しておいてください。
- ★ ノートは、5mm方眼のノートを使います。年度当初は、学校から配布したノートを使い、使い終わった時点で、同じノートを各家庭で用意してください。

月	学習内容	学習のねらい
4	○ 大きい数のしくみ  ○ 角の大きさ	○ 億や兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、よりさまざまな数を用いることができる。  ○ 角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、角の大きさについて量の感覚を身に付け、角の大きさを測定したり角をかいたりすることができる。
5	○ わり算の筆算（1）	○ 2～3位数を1位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできる。
6	○ 垂直平行と四角形	○ 直線の位置関係や四角形についての観察や構成などの活動を通して、直線の垂直や平行の関係、台形、平行四辺形、ひし形について理解することができる。
7	○ 折れ線グラフ  ○ そろばん	○ 身の回りの事象について、目的に応じて資料を折れ線グラフを用いて表したり、その特徴や傾向を読み取ったりして統計的な見方をすることができる。  ○ そろばんの仕組みについての理解を深め、そろばんを用いて、整数や小数の加減計算ができる。
9	○ 小数のしくみ  ○ わり算の筆算（2）	○ 小数の意味や表し方、その加減法についての理解を深め、用いることができる。  ○ 2位数でわる整数の除法の計算について理解し、その計算が確実にできる。
10	○ 整理のしかた  ○ 計算のきまり	○ 目的に応じて資料を2つの観点から分類整理して表にまとめたり、その特徴を調べたりすることができる。 ○ 計算の順序に関わるきまりについて理解するとともに、四則に関して成り立つ性質について理解を深め、必要に応じて活用できる。
11	○ 面積のはかり方と表し方  ○ 分数	○ 面積について単位と測定の意味を理解し、面積についての量の感覚を身に付け、面積を計算によって求めることができる。  ○ 分数についての理解を深めるとともに、同分母の分数の加法、減法の意味や計算の仕方を理解することができる。
12	○ 変わり方調べ  ○ CRTテスト	○ 伴って変わる2つの数量について、それらの関係を表を用いて調べ、式に表して、2つの数量の関係を明らかにすることができる。
1	○ がい数の表し方	○ 概数について理解し、目的に応じて、概数を用いたり四則計算の見積もりをしたりすることができる。
2	○ 小数のかけ算とわり算	○ $(\text{小数}) \times (\text{整数})$ 、 $(\text{小数}) \div (\text{整数})$ 、 $(\text{整数}) \div (\text{整数})$ で商が小数になる場合の計算の意味や計算の仕方について理解し、それらの計算ができる。
3	○ 直方体と立方体  ○ 4年のふくしゅう	○ 図形についての観察や構成などの活動を通して、直方体や立方体、平面上や空間のものの位置の表し方について理解することができる。  ○ 既習内容の理解を深めることができる。